



ゆりはまにあ

2022年11月25日発行

湯梨浜町観光協会

〒682-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町はつみ温泉5-22

TEL(0858)35-4052 FAX(0858)35-4701

H P <http://www.yurihama-kankou.jp/>

F B <https://www.facebook.com/yurihamakankou>

湯梨浜町観光協会  会員募集中

湯梨浜初!

湯梨浜町観光ガイドの会×東郷小学校4年生

We love 東郷♡ 東郷の魅力発信ガイド(小学生ガイドの育成)

◆「ふるさとに誇りと愛着を」湯梨浜町観光ガイドの会(田淵 喜之会長)による 東郷小学校4年生の児童に観光ガイドを体験してもらい取り組みが始まりました。

東郷小学校4年生は、総合的な学習において「We love 東郷♡」を合言葉にまちの歴史・文化・自然・食などを調べ、地域の方をゲストティーチャーに校外へ出掛け積極的に活動をして来られました。

そのなかで湯梨浜町観光ガイドの会の活動について知っていただく機会があり児童から「ガイドをやってみよう」という声が上がりました。ガイドの会としてもコロナ前より小学生ガイドの育成についての計画案があり、ようやく実現することとなりました。

ガイドについて、倭文神社の魅力

11月8日(火)ガイドの会3名が東郷小学校に出向き、ガイドの仕事をする時に大切なことや倭文神社の御祭神、安産岩、夫婦岩、神話など、倭文神社の魅力について映像やクイズを交えて楽しく紹介しました。

児童は「神社のことをたくさん知ることができて良かった」「色々な話があることにびっくりした。たくさんの人に伝えられるようになりたい」と意欲を持ってくれました。

小学生ガイドの名前は「We love 東郷♡ 東郷の魅力発信ガイド」に決定。

後日、東郷の魅力発信ガイドになるまでの道のり(計画)が記載された「倭文神社の台本」が配布され、総合的な学習の時間に読み合わせや練習が始まりました。

児童は、普段の会話とは違う表現や言い回しに苦戦しながらも内容を理解し、着々と準備を進めていきました。

会の最後にはサプライズとして児童から歌のプレゼント♪一生懸命歌う姿に、これから始まる東郷の魅力発信ガイドに対する皆の思いが感じられました。これからもガイドの会として地域の大人として全力で応援・サポートしていきます。

次に行われたのは現地での**ガイド練習会(*'▽')**です。11月22日(火)/1組

11月25日(金)/2組と2日間に分けて行われた練習会。マイクロバスで伯耆国一ノ宮倭文神社へ行き、少人数グループに分かれてガイドの会メンバーやガイド養成講座参加に指導を受けながら位置確認やガイド練習を行いました。「ここをやりたい!」「私もやってみよう!」と積極的に手が上がり、自分だけでなく友達ガイドを聞きながら何度も練習し、観光案内の自信へと繋げていきました。

児童は練習会で学んだことを活かし、ガイド案内に必要な絵や写真の準備、自作の名刺、保護者への招待状などを制作し12月12日(月)と14日(水)の本番へ向けて取り組んでいます。ガンバレ! 東郷の魅力発信ガイドさん。

会場の最後にはサプライズとして児童から歌のプレゼント♪一生懸命歌う姿に、これから始まる東郷の魅力発信ガイドに対する皆の思いが感じられました。これからもガイドの会として地域の大人として全力で応援・サポートしていきます。



小学生が観光ガイド案内
11月8日 東郷小学校

▲倭文神社の魅力・ガイドについての勉強会 ～TCCニュースより～



▲観光ガイドの会 会長 田淵氏 ▲ガイド地 伯耆国一ノ宮倭文神社



うわっ 大きい!!

拝殿の脇で案内の練習



令和4年度 湯梨浜町観光ガイド養成講座

10月27日(木) 養成講座③先進地事例研修

◆第3回目の養成講座は先進地事例研修として、岡山県真庭市へ出掛けました。初めに訪れたのは高野山真言宗普門寺(真庭市田原山上 2127)。

こちらは、花の山寺と呼ばれ、春はシャクナゲ、初夏はアジサイ、夏にはユウスゲ、秋にはソバなど四季折々に花を楽しむことができ、開花に合わせたイベント等で大変な賑わいを見せています。

ご案内をしてくださったのは結婚を機に真庭へ移住され、今では真庭の素晴らしさを伝えることが生きがいになっているという普門寺住職の奥様、和田ひろみさん。

奥深い地にあるお寺ながら、高速のICを降りると迷うことなく続く道しるべの看板。過去のお寺のイベント等の様子を拝見してみると、年代関係なく花の山寺として地域の皆さまに愛されている様子がよくわかりました。

隣接するUEDA VILLAGE(ウエダビレッジ)は、旧真庭市立上田小学校を活性化施設としてリノベーションし2019年にオープンしたものでカフェ・ショップ・ゲストハウス・美容室・イベントスペースなど複合的機能で構成されています。



▲春と秋の2回にわたって花を咲かせる四季桜。秋には紅葉の赤と四季桜のピンクのコントラストを楽しむことができます



▲UEDA VILLAGE
旧真庭市立上田小学校

オシャレな外観や内装も良いものはそのまま利用されており元イベントホールだった八角堂は屋内キャンプ施設に、元音楽室だった部屋はゲストハウスにと、古いものが新しく活用されているアイデアと取り組みは大変参考になりました。

湯原温泉では、ハンザキセンターや湯原温泉街（街並み・砂湯他）を湯原観光協会の伴野良子さんにご案内していただきました。

湯原温泉といえは？湯郷温泉・奥津温泉とともに美作三湯の一つとしても知られており、野口冬人による諸国露天風呂番付で西の横綱にランクインされた「砂湯（露天風呂）」は大変有名です。



▲つぶらな瞳が愛らしいハンザキ
(目はコレなのだ～)

もう一つ、湯原温泉で人気を博しているものに「ハンザキ」(≧▽≦)があります。一般的には「オオサンショウウオ」の名前で知られていますが、「ハンザキ」とは半分に裂けても生きているという俗説からついた別名で、まちの至る所にハンザキのアートが存在し訪れる人々を楽しませてくれます。湯梨浜町から少し離れ、地域の取り組みや人々の思い、現状や問題点を知り、大きな刺激を受けました。



潜入ルポ

鳥取県無形民俗文化財 田後神社頭屋祭「宮の飯」

緑・人の繋がりに感謝「田後に宮の飯っていう 早朝に肅々と行われる祭礼があるらしいよ」という興味深い情報を耳にしました。

これはぜひ体験、いいえ見学してみたいと思っていた頃、別の取材で町内の湯梨浜町歴史民俗資料館を訪ねました。

入館者のお一人であった男性から自己紹介をしていただいたのですが「私は田後の入江といいます」「あっ、偶然にも田後の方がいらっしゃる。宮の飯のことをイチカバチか聞いてみよう」と声を掛けて

みました。すると「ああ宮の飯ね、私が今年の担当なんですよ」と入江さん。何と!(*□*)ビックリ!! こんな偶然があっても良いのでしょうか。取材をするにあたっては担当者を調べ、電話やお会いしてのアポは必須。こうしてすんなりと田後神社頭屋祭「宮の飯」に潜入することに成功したのでした(*'ω'*)

宮の飯って？ そもそも宮の飯とはいったい何なのでしょう。宮の飯とは、旧暦 11 月 1 日に行われ、その年に収穫された新穀を神に献上し、新嘗（にいなめ）※神に供えて感謝の奉告をしてこれらの供え物を神からの賜りものとして自らも食することをを行うと共に豊作を祈願する祭礼で区民の間では「宮の飯」「しんじょう祭」と呼ばれています。



▲田後神社の鳥居からお社までは気持ちが良い程のいっぽん道♪

<2022 年の当人たちをご紹介>

①人目の入江さん
食材の準備他
今年のお世話役
趣味は韓国ドラマ観賞
時代劇も現代ドラマ
も何でも来い♪

②人目の入江さん
宮の飯保存会会長
趣味は骨董品収集♪
時を経て変化した
一点もの、奥が
深いでえ～

③人目の入江さん
欠席された当番
さんの代わりに。
趣味は高校野球
観戦！高校球児の
父なのであ～

今年の旧暦 11 月 1 日は、11 月 24 日（木）にあたりますが、準備は前日から行われるのです。そして、この祭礼の主役は 5 人の当人。

その組織と行事・内容は宝徳二年（1450）の勧請以来古式を保ち、神職を持たずに村の住民のみを構成員として祭祀を行う中世的な「宮座」の形態を残している年中行事で、五百有余年の歳月を一定の水準を保ってよく伝承されてきたものとして昭和 61 年 4 月 8 日、鳥取県無形民俗文化財に指定されました。

前日の 11 月 23 日（水・祝）

部落の案内放送を済ませ、降りしきる雨も何のその、午前 8 時から神社の清掃を開始。拝殿、境内の



▲海でお清め（つごもり）する五人

右、左、裏など清掃場所も誰がどこを担当するのか昔から決まっているそうです。次に翌日に使用する炊飯用具を確認し、テントを張ります。

午後 1 時、神社に集合の後 橋津の海へ向かわれました。

「ああ、今日は波もないしええなあ」とおもむろに上着を脱ぎ捨て、白いふんどし姿に(;°D°)

そうです、海でお清めをするというのです。

近くに居た釣り人が 5 人に気が付き、二度見、三度見…

最後には目を丸くしてこちらへ走って来られました。

「な、な、何があつですか？！」事情を説明すると「はあ、そうでしたか。びっくりしちゃって」と納得され元の釣り場へ戻って

これが
ジンバ草であ



福本さん
柳の箸を作る担当
趣味はペーパークラ
フトやプラモデル！
最近ではフィギアも。
丁寧な仕事を
しまっせー♪

山上さん
華麗な包丁さばきで
大根をカット。
趣味はウィンター
スポーツとロードバイク
トライアスロンにも
参加経験のある鉄人

いかれまして ((´▽`)) 季節は冬、驚くのも無理はありません。



「今日は水があつたかくて良かったわ。いつだかは雪が積もって凍るかと思った」と山上さん。

旧暦 11 月 1 日は毎年変わるので、そんな日のお清めは想像しただけで震えてしまいます。

こうして海の水でお清めする「つごもり」が終わると、海岸でジンバ草と砂を持ち帰り、拝殿や境内に撒いてお清め。一度解散し、夕方神社に集合。夕食をとり、明日に備えて早めに就寝します。

11 月 24 日（木）当日 この日の起床は午前 3 時（はやっ！）東方へ二礼二拍手一礼し、かまど周りに塩を海の砂を撒いてお清めしたあと、いよいよ炊飯などの作業を開始します。まず、玄米 5 升 5 合を臼で 3 杵半つくののですがこれはあくまで儀式。本当につくのではなく、神様が予定よりも早くいらしたのでゆっくりとおもてなしの調理ができなかったという逸話から来ているそうです。

青大豆を煎り、あら塩を煎り、大根を五角形の薄切りにし、かまどで玄米を炊きま
す。ネコヤナギの小枝で箸を12膳。これは1か月を1膳とし、1年分という意味
なのでしょう。以前は集落の道路沿いに柳の木があり、その枝を使用していたそう
ですが伐採することになり、現在は“宮の飯用”にと、保存会会長宅に柳の木を植え
られたそうです。

そうこうしているうちに玄米が炊き上がりました。今年の出来栄は？

「ええ具合だ！」「入江さんが水加減、火加減を見てごしなっただけなあ」「いや、
みんながテキパキええ段取りしてごしなっただけ」「いや、〇〇さんが良かったけ」
当人同士で褒め合い感謝し合いながら気持ちよく作業を続けます。

玄米を移すおひつの裏には「明治34年」の文字と共に、田後
村当人（当人）5人の名前、桶工の名前と玄米の量が記載され
ていました。121年前に新調したおひつは多少のゆがみ
があるものの今年も現役。習わし、人、道具も全てにおいて
昔のままに大切に受け継がれてきたことがよく分かりました。
全ての材料が揃うと、準備しておいた“こも”に一式をくるみ本殿へ。



▲明治34年に新しくしたおひつを大切に使用 ★ネコヤナギで箸を作る福本さん（左上）
★あら塩を炒る山上さん、入江さん（右上）

5時 正装して社殿へ 池田宮司さんにより祝詞が奏上され、
拝殿にいる皆が一人ずつ玉串を捧げました。

「伊藤さんも何かの縁だから、どうぞ」と声を掛けていただき、「え？私もいいのですか」と、心の準備も整わないまま二礼二
拍手一礼で玉串を捧げました。「パン、パン」あれ？格好よく綺麗な音を響かせたかったのに、焦りと手の乾燥で（言い訳）鳴
ったのか鳴っていないのかよくわからない音量の拍手となってしまいました（-_-） 気を取り直し「このご縁に感謝申し上げ
ます。これからも皆をお守りくださいますように」と御祭神の建速須左之男神に心から感謝を申し上げます。
いよいよ当人の五人が本殿でご飯・大根・塩・青大豆を混ぜ合わせ「ごくう（御共）」を作ります。“これだ”写真で見たアン
グルです。この時、宮司さんは本殿に入ることはできないそうです。

こうして **5時半～7時半** 神にお供えしたごくうを「無病息災」の願いと共に参拝者へ配られるのです。私もいただきました。



▲当人の5人 本殿にて

歴史を知り 見聞きした後の有り難いごくう、これがまた「美味」なのです。
食物繊維やビタミンも豊富な玄米は噛めば噛む程に深い味わいがあり、香ばしい青大豆（炊
いたわけではないのでちょっと硬いので注意）とシャキシャキの大根が良いアクセントと
なりました。全国には行事の際に神にお供えをするということとはよくありますが、お供えを
メインに行うものは全国でも大変珍しいということなのです。

時代の流れと共に失われていく行事がある中で、先人の思いや願いを伝承していくことの
大切さ、今あるものは当たり前ではなく、人の手により受け継がれてきたものであるという
ことに敬意を表し、自分自身もまた次の世代へ何か伝えることができたらなあと思いま
した。その後当人は清掃・片付けを行い **12:00 次の当番へ炊飯道具を引き継ぐ「当屋渡し
の儀」**を行い2022年の宮の飯を終了されたそうです。

・・・さて、来年までに“拍手”の練習をしておかなければ(ω\)

温泉むすめ プロジェクト

はわい東郷 浮乃ちゃん 湯梨浜町観光大使に就任

◆温泉むすめプロジェクトが手掛ける 北海道から沖縄まで各温泉地をモチーフにした想像上
の二次元キャラクターは現在124人存在（2022年11月現在）し、「はわい浮乃」ちゃんは、はわい温泉・東郷
温泉のキャラクターとして2022年4月 全国で123番目に誕生しました。

同時に、探偵風コーディネートのトレンチコートに「とっとり百選」にも選ばれたかつてのまちの工芸品、
幸福と知恵をもたらす“大将ひょうたん”の可愛いポシェットを下げた浮乃ちゃん（はわい温泉「水郷バージョン」
もお披露目され、今では“聖地”のような存在になりつつあります。また、9月にははわい温泉「鹿鳴館バー
ジョン」も誕生し、屋号の如く鹿鳴館時代を思わせるポルドー系の二部式の着物スカートを可愛いと人気上昇中
です。温泉むすめキャラクターはそれぞれの温泉地で地域の魅力を伝えながら来訪促進を目的に奮闘して
いますが、「はわい 浮乃」改め「はわい東郷 浮乃」ちゃんが、この度「湯梨浜町観光大使」に就任し11月3日（木・祝）
国民宿舎水明荘を会場に、湯梨浜町観光大使就任式が行われました。

この日のために全国各地から集結した温泉むすめファンの
皆さま75名、応援いただいた関係各所の方を含めると
何と100名に及ぶお客様が越しになり、会場は大いに
盛り上がりました。

温泉むすめファンの皆さまは主に SNS の Twitter 等で
情報収集をされており「町長が出てくるインパクト！大」
「ゆりりんのデカさに驚（°Д°）」「行政が関わって盛り
上げようとする姿が嬉しい」「観光大使就任おめでと
うございます」など多くのお祝いの声をいただきました。

そしてこの日新たにお披露目されたのは「ゆア시스東郷龍鳳閣バージョン」
のはわい東郷浮乃ちゃん♪

中国風・緑色・温泉をテーマにデザインされた浮乃ちゃんは、緑色の牡丹
柄チャイナドレスに身を包み、手には風呂桶。これから温泉に入ろうと
暖簾をくぐった瞬間のポーズです。髪をアップした姿がとってもキュート♪
新グッズと共に、チャイナ姿の浮乃ちゃんにもぜひ会いに来て下さいね。
これからも「はわい東郷 浮乃」ちゃんの応援、よろしくお願い致します。



▲湯梨浜町特別住民票左 就任式には皆生（皆生
なぎさ）・三朝（三朝歌蓮）・湯原（湯原砂和）・奥津
（奥津かがみ）・湯郷（湯郷美彩香）からも応援に♪右



ゆア시스東郷龍鳳閣バージョン



▲宮脇正道町長から委嘱状を受け取る
中島伸之はわい温泉・東郷温泉旅館組合 組合長





ゆりはま★イルミネーション情報



クリスマス花火観賞 2022

◆はわい温泉の冬の風物詩となりました大好評企画“クリスマス花火”。澄みきった夜空に輝く花火は湖面を神秘的に照らし、クリスマスムード満点♪
他では見られない“クリスマスツリー”などハワイらしい花火は必見です。



[期間]2022年12月24日(土)・25日(日)2日間限定
[時間]20:15～10分程度 荒天中止
[会場]浅津公園(東郷湖羽合臨海公園内)
※19:30～20:30まで打ち上げ場所付近は**立入禁止**となりますのでご注意ください。当日、東郷温泉に宿泊のお客様を対象にはわい温泉広場までの無料送迎バスを運行します。
申込・詳細はお宿へお問合せ下さい。
[問合]はわい温泉・東郷温泉旅館組合
(0858) 35-4052 <https://www.hawai-togo.jp/>

★2日間限定★はわい温泉・東郷温泉に宿泊されたお子さまにサンタさんからお菓子の詰め合わせのクリスマスプレゼントがあります。(チェックイン時に引換券を配布します。引き換え場所の観光案内所までお越しください)

あやめ池ウィンターイルミネーション

■6万5千球のLEDを使用し、樹木のライトアップや光のトンネル、鯉・白鳥・あやめの花をモチーフにしたオブジェ、しあわせのベルなど、静寂に包まれる中で水面に映る幻想的な光は吸い込まれるほどの美しさです。心が落ち着く竹灯籠の優しい灯りもバージョンアップ。癒しのスポット、地元ファンも多いあやめ池公園へぜひお出掛けください。



[ライトアップ期間]2022年12月1日(木)～2023年1月3日(火)
[時間]17:00～22:00
[料金]無料/無料駐車場(50台)あり
[会場]あやめ池公園(湯梨浜町藤津)
[問合]東郷湖羽合臨海公園あやめ池スポーツセンター
(0858)32-2189

★公園内には池があります。小さいお子さまをお連れの方は、必ず保護者の方が手を引いて観賞していただきますようお願いいたします。

はわい温泉広場☆地味にキレイなイルミです

◆クリスマスへのワクワクを演出するクリスマスツリーが今年もはわい温泉広場に登場します。ちょっと地味だけど?意外とキレイですよ。
近くには東郷湖底から湧く100%源泉かけ流しの歩いて行ける足湯が4カ所(○寿老人の湯/山本みやげ店道向かい ○福祿寿の湯/ゆの宿彩香前 ○弁財天の湯/望湖楼屋形船横 ○恵比寿の湯/水郷斜め道向かい)あり、足湯の後の癒しのスポット。そして、昨年に引き続き「子どもに会いを!」を合言葉に地域でボランティア活動をされているMCC様による「恵比寿の湯」ライトアップも始まります。



[期間]2022年12月10日(土)～2023年1月3日(火)
[ライトアップ時間]17:30～21:00
[会場]はわい温泉広場
[問合]はわい温泉・東郷温泉旅館組合
(0858) 35-4052 <https://www.hawai-togo.jp/>

中国庭園燕趙園★上昇輝龍

■皇帝の象徴でもある「龍」をテーマに約3万球のホワイトイルミネーションが中国庭園を彩ります。昼間とはまた違ったロマンチックな庭園をぜひお楽しみください。また、5日間は「夜の宝さがし」も開催します。庭園内のミッションをクリアして景品をゲットしよう。



(参加無料/17:00～19:00)
また、昼間は1日3回中国雑技のショーを開催中です。(1回25分程度)
なんと!入園料のみで観覧できちゃう。
昼も夜も中国庭園燕趙園を満喫しよう♪

[期間]2022年12月10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日)・24日(土)5日間限定
[時間]夜の部 17:00～21:00 昼の開園は17:00まで
[入園料]大人500円 小人200円
[会場・問合]中国庭園燕趙園(0858)32-2180

★昼間のイベント★

中国雑技ショー毎日開催 9:30/13:30/15:00(1日3回)
5日間は、ワークショップやクリスマスコンサートも開催。HPをチェックしてね。 <https://www.encho-en.com/>

湯梨浜町PR大使 谷本耕治

★湯梨浜町出身歌手谷本耕治さん 全国で活動中!

<プロフィール>誕生日/6月30日 特技/小唄[春日流小唄名取・師範]、日本舞踊、シャンソン、顔ヨガ(フェイシャルヨガ) ※インストラクター資格取得 大衆演劇や、作家・歌手 故・戸川昌子氏の付き人等で修業を重ね、2014年にインディーズレーベルにてCDデビュー。

<https://ameblo.jp/koji-tanimoto/> (問合) タニテツプロ合同会社 TEL/FAX 03-3361-3455

